

(別添資料1)

事業所名

放課後等デイサービス あっぱぱーS

支援プログラム

作成日

8 年

1 月

15 日

法人（事業所）理念		基本理念「想いやる」 三つのS（ソーシャルスキルトレーニング・スポーツ・学習）						
支援方針		子供たちの自己決定と選択を尊重し、「自ら考えて行動する力」を身につける、子供たちが社会で生き抜くための力を身につける為に個々の個性に応じた質の高い支援を行います。						
営業時間		平日	10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	水分補給や季節（気温）に合わせての体温調節（衣服のセレクト）衣服の着脱、摂食（食事やおやつ）の際の姿勢保持や箸の持ち方等、体調管理や日々の生活の中でのスキルアップを個々の特性に応じてスモールステップでサポートしていきます。						
	運動・感覚	スポーツ（サッカー）活動を通して運動・感覚能力を確認し、関節の可動域や力の入り方等身体の使い方について、個々の能力に合わせたアプローチの方法を提案していきます。また、野外活動を通して気が付いたら力がスタミナがついていたと、楽しく体力が向上していくようなメニューを提供していきます。						
	認知・行動	個々の特性を鑑み、視覚・聴覚・感覚等、様々な面からアプローチを行い、情報の習得、理解の度合いを確認していき、スムーズに行動に移せるようにサポートしていきます。						
	言語 コミュニケーション	挨拶を基本とした支援を行い、個々の特性に応じて、まずはジェスチャー（お辞儀や握手）、小さな声で挨拶、相手に聞こえる声で、相手の顔（目）を見て挨拶と相手の反応（伝わった事）も確認していきながらコミュニケーション能力向上へと繋げていきます。						
	人間関係 社会性	自己主張しつつ相手の反応や意見に協調できるよう、集団生活やグループ活動を通じて伝わる（伝える）事の喜びや楽しさを経験し、良好な人間関係の構築をサポートしていきます。また、集団生活、活動のルール（準備・後片付けや順番）等を個々の特性に合わせ伝え方を工夫し、支援していきます。						
家族支援		保護者より家庭や学校での様子を聞き、個々の特性の理解を深めつつ、特性を踏まえたかわり方や声掛けの方法タイミング等をアドバイスしていきます。				移行支援	保護者とも連携し、必要に応じて学校（担任等）とも連携を取り支援していきます。また、買い物や外食体験等を実施、実社会に出、社会的ルールを身につけていくサービスを提供、地域への移行に向けサポートしていきます	
地域支援・地域連携		学校、保護者、他事業所との連携会議により情報を共有し役割分担や支援の統一について協議します。				職員の質の向上	感染や虐待等について各委員会を設置、職員会議などで勉強会を実施、外部研修への積極的な参加により質の向上を図っております。	
主な行事等		フレンズリーグ（サッカー試合）年3回・クリスマス会・初詣・お花見・調理火起こし体験・登山・川遊び・買い物体験等						